

公益財団法人 平野政吉美術財団

平成27年度 事業実施計画

I 展示公開事業

II 教育普及事業

III 調査研究事業

IV 美術ホール運営事業

V 売店事業

平成27年4月1日～平成28年3月31日

<基本方針>

- ・1930年代の藤田嗣治の油彩画を中心とした平野政吉コレクションの展示や美術品に関する調査・研究等を行い、県民をはじめ広く世界に藤田嗣治の画業の意義を発信する。
- ・展示公開事業は、藤田嗣治とその画業に焦点を当てた企画展と特別展を実施する。また、秋田をテーマにした特別展も開催する。
- ・教育普及事業では、企画展および特別展関連講演会、ワークショップなどの美術館教室、ギャラリートーク、コンサート等のイベントを実施し、開かれた美術館を目指す。特に壁画《秋田の行事》については、月一回の定例ギャラリートーク、および、館外での美術館教室を行う。県民が《秋田の行事》の鑑賞や美術館教室参加をきっかけに、壁画のテーマとなった「秋田」について理解を深めるような取り組みを実施する。
- ・セカンドスクール対応のための工夫を図り、学校教育への支援を行う。さまざまな機関と連携して、美術館における鑑賞教育の在り方をともに考え実践する。
- ・美術ホール（県民ギャラリー）は、利用者のための利便性を図るよう留意する。

I 展示公開事業

<1> 常設展示事業

常設展 平野政吉コレクションⅠ

1 会 期 平成27年4月1日（水）～平成27年5月7日（木）

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 趣旨

平野政吉コレクションの中から、戦前の美術館建設提案にともなって、平野政吉が購入した藤田嗣治作品を展示する。

4 主な展示作品

藤田嗣治 《秋田の行事》 《自画像》 《眠れる女》 《五人女》

常設展 平野政吉コレクションⅡ

1 会 期 平成27年5月10日（日）～平成27年7月21日（火）

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 趣旨

平野政吉コレクションの中から、藤田嗣治の女性像の代表作を中心に展示する。

4 主な展示作品

藤田嗣治 《秋田の行事》 《1900年》 《踊子》 《五人女》

常設展 平野政吉コレクションⅢ

1 会 期 平成27年7月24日（金）～平成27年9月29日（火）

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 趣旨

平野政吉コレクションの中から、日本滞在期に制作した作品を展示する。

4 主な展示作品

藤田嗣治 《秋田の行事》 《北平の力士》 《室内の女二人》 《カーナバルの後》

常設展 平野政吉コレクションⅣ

1会期 平成27年10月3日(土)～平成28年1月17日(日)

2会場 大壁画ギャラリー

3趣旨

平野政吉コレクションから、自画像と画室を描いた作品を中心に展示する。

4主な展示作品

藤田嗣治 《秋田の行事》 《吾が画室》 《私の画室》 《自画像》

常設展 平野政吉コレクションⅤ

1会期 平成28年1月21日(日)～平成28年3月21日(月)

2会場 大壁画ギャラリー

3趣旨

平野政吉コレクションの中から、女性を描いた油彩画、素描、版画を紹介する。

4主な展示作品

藤田嗣治 《秋田の行事》 《眠れる女》 『魅せられたる河』より《オペラ座の夢》
《マドレーヌ像(花をまく)》

<2>企画展示事業

企画展 藤田嗣治の旅Ⅰ —中南米からアジアへ—

1会期 平成27年4月1日(水)～平成27年5月7日(木)

2会場 ギャラリー1・2

3趣旨

1931年10月、藤田嗣治はマドレーヌとともに、パリを離れブラジルへと旅立つ。約2年にわたり、ブラジル、アルゼンチン、ボリビア、ペルー、キューバ、メキシコなどを巡遊した。藤田は訪れた国々で民族や風俗に関心を寄せ、仮面、土器、土偶、岩偶、石製品、人形などを収集した。藤田は収集品の一部に、入手した地名を書き付けた。それらの地名は、藤田の旅を跡付けている。

中南米の旅を終えた藤田のまなざしは、やがてアジアへと向けられていくことになる。帰国の翌年、1934年11月から約1ヶ月間、藤田は中国を旅行。この旅での見聞を生かして制作されたのが、大作《北平の力士》である。立派な体格のすもう取りたちは画面の中央で圧倒的な存在感を放ち、その背後には色とりどりの伝統衣装や細やかな花模様の衣服を身にまとった人々、辮髪の子どもたちも描かれ、藤田の民族に対する深い関心がうかがえる。

本展では、中南米や中国に取材した藤田作品を展覧する。各国で収集した品々とあわせて、藤田のまなざしの軌跡を検証する。

4主な展示作品・資料

藤田嗣治 《北平の力士》 《北京での素描》 《町芸人》 《室内の女二人》
《カーナバルの後》 《吾が画室》 《メキシコでの素描》

藤田嗣治の中南米での収集品(仮面・土器・土偶・玩具等)

企画展 藤田嗣治の旅Ⅱ(仮題)

1会期 平成27年7月24日(金)～平成27年9月29日(火)

2会場 ギャラリー1・2

3趣旨

藤田嗣治は1931年から約2年間、ブラジルやアルゼンチン、ペルー、メキシコなどを歴訪した。本展は、この中南米歴訪に焦点を当て、平野政吉コレクションのなかから、ブラジルに取材した油彩画や、メキシコでのデッサン、各国で収集した仮面や土器、土偶、土偶、岩偶、石製品、人形などを展示する。非ヨーロッパ的な文化へ向けられた藤田のまなざしを検証する。

4 主な展示作品

藤田嗣治 《カーナバルの後》 《町芸人》 《室内の女二人》 《吾が画室》
《メキシコでの素描》
藤田嗣治が南米で収集した宗教画

企画展 藤田嗣治と平野政吉 まぼろしの美術館 1936-1938 (仮題)

1 会 期 平成27年10月3日(土)～平成28年1月17日(日)

2 会 場 ギャラリー1・2

3 趣旨

藤田嗣治と平野政吉が1936年に建設構想を打ち出した幻の藤田美術館(平野政吉家美術館)についての秋田県立大学准教授込山敦司氏の調査・研究の成果を披露し、幻の美術館の模型を展示、内部をバーチャル再現する。幻の美術館での展示を予定して平野に譲渡された藤田作品もあわせて展示する。また、当時、この美術館について、藤田が個人ギャラリーを、平野は美術史美術館をイメージしていたことを、平野の収集作品や資料で明らかにする。

4 主な展示予定作品・資料

藤田嗣治 《眠れる女》 《五人女》 《カーナバルの後》 《町芸人》 《室内の女二人》
藤井浩祐 《梳髪(原型)》 《エアデル・テリア》 個人蔵
平野精一(政吉) 《裸婦》 個人蔵
幻の藤田美術館(平野政吉家美術館)のバーチャル再現映像
幻の藤田美術館(平野政吉家美術館)の模型

<3> 特別展示事業

特別展 田園にて -秋田の風景・子ども・女たち-

1 会 期 平成27年5月10日(金)～平成27年7月21日(火)

2 会 場 ギャラリー1・2

3 趣旨

秋田の農村が近代化により大きく変貌してゆく1950年代から1960年代、写真家たちが、その田園風景を撮影した。

戦後の写真界において、土門拳らとリアリズム写真を提唱していた木村伊兵衛は、1952年の秋田県総合美術展写真部門審査員として、はじめて秋田を訪れる。以降1971年までの間、21回来秋し、秋田の農村を撮影し続けた。当初、戦後の農村の動揺した姿を撮るつもりで秋田入りした木村だが、むしろ女性、子ども、老人など、秋田の人々に惹きつけられ、カメラを向けている。

秋田を訪問した木村は、秋田のアマチュア写真家たちと交流した。その中のひとり、県南の案内役を務めた横手市在住の千葉禎介は、木村の助言もあって農村の姿を撮影することをライフワークとする。農村の風景や暮らしを切り取った千葉の写真には、あたたかな空気感が満ちている。

変わりゆく農村に向き合った木村と千葉だが、その写真には、時が流れても変わらない根源的な人の営みが捉えられている。

本展では、写真家二人の作品とともに、日本画家・高橋萬年と版画家・勝平得之の作品を展観。秋田市出身のこの二人も農村に普遍的なものを見出し、独自の画風で描き出した。田園とそこに生きる人々テーマにしたそれぞれの作品に、遠い記憶となった秋田の原風景を思い起こしていただきたい。

4 主な展示予定作品

木村伊兵衛撮影写真 シリーズ〈秋田〉秋田市立千秋美術館
千葉禎介撮影写真 秋田県立近代美術館
木村伊兵衛書簡(千葉禎介宛) 秋田県立近代美術館
高橋萬年 《田植》 秋田県立近代美術館蔵
高橋萬年 《田》 秋田県立近代美術館蔵
勝平得之 [米作四題] 秋田県立近代美術館

特別展 藤田嗣治 アトリエの変遷 ～日本に構えた4室～ (仮題)

1会期 平成28年1月21日(木)～平成28年3月21日(月)

2会場 ギャラリー1・2

3趣旨

19世紀以降、画家のアトリエを描いた作品は多い。画材、家具、画家自身やモデルが登場するそれらの作品は、画家の意識のあり方や時代を映し出す。藤田嗣治は、アトリエの画材や調度を背景にした自画像、愛蔵品に満ちたアトリエの絵など、アトリエと自己イメージが重なる作品を数多く描いている。

藤田が日本で営んだアトリエは、渡仏前の大久保のアトリエ、1933年の帰国後に建てたメキシコ風の戸塚のアトリエ、和風から洋風へと改築された麴町下六番町のアトリエ、戦後、疎開先から戻った江古田のアトリエである。

本展では、これらのアトリエを描いた作品やアトリエで制作した作品を、室内を撮影した写真や資料とともに展示する。

大久保のアトリエのコーナーは、《京城の眺め》などの油彩画の他、パリから妻とみに宛てた藤田の書簡を展示、メキシコ風の戸塚のアトリエは、愛蔵品が描かれた《吾が画室》と藤田のアジアへの関心の成果である《北平の力士》、あわせて中南米の収集品で構成する。戦争画を描くために改築された下六番町のアトリエには、改築前を描いた《私の画室》と戦時下で描かれた作品を紹介し、江古田のアトリエは、戦後の大作《優美神》を中心に展示する。

藤田が日本に構えたアトリエは、自らの画業の方向性を見据え、制作のモチベーションを高めるインテリアが整えられていた。本展では、1930年から40年代のアトリエについて、室内を模した空間の中に作品を配置することにより、時代と連動する藤田の意識のあり様を検証する。アトリエは藤田の私的な空間であるが、その窓は外界に向けて大きく放たれていたのである。

4 主な展示予定作品

藤田嗣治 《三保の松原》個人蔵
《京城の眺め》個人蔵
《優美神》聖徳大学川並記念図書館蔵
《吾が画室》公益財団法人平野政吉美術財団蔵
《自画像》公益財団法人平野政吉美術財団蔵
《私の画室》公益財団法人平野政吉美術財団蔵

藤田嗣治使用 トランク 目黒区美術館蔵

藤田嗣治の中南米での収集品(仮面、ペルー土器等) 公益財団法人平野政吉美術財団蔵

土門拳撮影 麴町区下六番町のアトリエ、江古田のアトリエを写した写真

公益財団法人土門拳記念館

II 教育普及事業

(1) 講演会

事業名 専門的美術講座

企画展「藤田嗣治と平野政吉 まぼろしの美術館 1936-1938 (仮題)」関連講演会

講師 込山教司(秋田県立大学准教授)

実施日 平成27年12月中旬

会場 レクチャールーム(予定)

事業名 専門的美術講座

特別展「藤田嗣治 アトリエの変遷 ～日本に構えた4室～ (仮題)」関連講演会

実施日 平成28年1月下旬

会場 レクチャールーム(予定)

(2) 美術館教室等

事業名 美術館教室「藤田嗣治の映画を巡る(仮題)」

実施日 平成27年4月25日(土)

会場 仙北市角館

事業名 秋田県立近代美術館連携事業

特別展「田園にてー秋田の風景・子ども・女たちー」関連イベント

トークショー「早苗饗(さなぶり)とーく(仮題)」

実施日 平成27年6月中旬(予定)

会場 レクチャールーム ギャラリー1・2(予定)

事業名 ワークショップ「じゅり先生による子どものためのワークショップ(仮題)」

実施日 平成27年8月29日(土)

会場 レクチャールーム

事業名 企画展「藤田嗣治と平野政吉 まぼろしの美術館 1936-1938(仮題)」関連事業

ワークショップ「まぼろしの美術館の壁画鑑賞を体験してみよう(仮題)」

実施日 平成27年11月28日(土)

会場 未定

事業名 特別展「藤田嗣治 アトリエの変遷 ～日本に構えた4室～(仮題)」関連事業

ワークショップ「わたしのおへや(仮題)」

実施日 平成28年2月下旬

会場 レクチャールーム

(3) ギャラリートーク

企画展 「藤田嗣治の旅Ⅰー中南米からアジアへー」

実施日 平成27年4月18日(土)

会場 ギャラリー1・2

企画展 「藤田嗣治の旅Ⅱ(仮題)」

実施日 平成27年7月25日(土)・8月15日(土)・9月19日(土)

会場 ギャラリー1・2

企画展 「藤田嗣治と平野政吉 まぼろしの美術館 1936-1938(仮題)」

実施日 平成27年10月17日(土)・11月21日(土)・12月19日(土)・

平成28年1月16日(土)

会場 ギャラリー1・2

特別展 「藤田嗣治 アトリエの変遷 ～日本に構えた4室～(仮題)」

実施日 平成28年2月20日(土)・3月19日(土)

会場 ギャラリー1・2

特別展 「田園にてー秋田の風景・子ども・女たちー」

実施日 平成27年5月16日(土)・6月20日(土)・7月18日(土)

会場 ギャラリー1・2

定例ギャラリートーク《秋田の行事》を読み解く

実施日 毎月第1土曜日

会場 大壁画ギャラリー

(4) イベント

事業名 エリアなかいち関連イベント「《秋田の行事》をあそぼう（仮題）」

実施日 平成27年1月下旬

会場 なかいちにぎわい広場

事業名 特別展「藤田嗣治 アトリエの変遷 ～日本に構えた4室～（仮題）」関連イベント
コンサート「フジタのパリ～シャンソンの調べ～（仮題）」

実施日 平成28年2月中旬

会場 未定

(5) 博物館実習の実施

県内外の美術の専門課程を履修している学生に対して、展示作業・教育普及・調査研究の実習を行う。

実施時期 平成27年11月下旬

Ⅲ調査研究事業

《秋田の行事》をはじめとする藤田嗣治の作品を調査研究し、その成果を公表する。

Ⅳ美術ホール（県民ギャラリー）運営事業

事業内容

- 1 絵画、デザイン、彫刻、書道、写真、児童・生徒作品等、美術ホール（県民ギャラリー）で展示する個人および団体の利用受付業務、展示指導を行う。
- 2 美術ホール（県民ギャラリー）と展示室が一体となった利用を促進する。

Ⅴ売店事業

藤田作品の理解を深めるため、インターネットでの《秋田の行事》の額絵販売を行う。
秋田県立美術館ミュージアムショップ運営業者へ絵はがき等の販売を委託する。